

県立病院ではたらく仲間をつなく 病院組合ニュース

15. 3. 9 No.86
愛知県病院事業庁職員組合
〒460-0001 名古屋市中区三の丸3-2-1
愛知県東大手庁舎内
電話(052)212-8031 FAX(フ-ア-クス)0120-930-340
メールアドレス byoin@aichikenshoku.gr.jp



第16回中央委員会開く

加入促進、経営形態の見直しなど 6月までの課題、取り組み確認

2月26日、水産会館において、第16回中央委員会を開催しました。(定数25名、委任状提出5名、欠席1名)
報告では、昨年の大会以降の活動、14年度会計決算・監査などを行いました。また、議事では、6月までの当面の取り組み、15年度予算の補正について提案を行い、了承、可決されました。
今後は、新規採用者の組合加入促進、職場要求、総合要求、36協定、経営形態の見直しなどに取り組んでいきます。

夜勤専従が4月・5月の新規採用者の夜勤不可時に行われると予測されます。勤務状況、体調を調査し、安全生委員会で協議します。やむを得ず行うときは短期間で終了できるよ

2014年度は予算上の患者数と比較して約70人程度少なくなっており、看護師数の大幅削減が見込まれました。しかし、手術室の3名増員があり、若干の減員となりそうです。薬剤部は当直体制が始まりました。業務との関連性で問題点を把握し、改善を所属に求めていきます。

また、事務職員については、日常的に時間外勤務をしている状況にあるため、実態を把握して、人員増等を所属に申し入れていきます。



県立病院の中で一番経営改善が求められています。今は職員一丸となって患者数の確保等に努めています。しかしながら、平成27年度の当初予算では、入院患者数に応じた体制にしたいと回答がありました。看護師の減員は避けられません。今後とも、愛知病院が地域医療の役割を果たせるように、これまでと同様に医療従事者を確保するように求めていきます。

がんセンター 中央病院

県職連合も同日、中央委員会を開催しました。病院組合からは12名の定数全員が出席(代理出席含む)しました。大会以降の活動報告と、加入、文レク、補助機関など、当面の取り組みが提案され、可決されました。

がんセンター 愛知病院

県職連合も同日、中央委員会を開催しました。病院組合からは12名の定数全員が出席(代理出席含む)しました。大会以降の活動報告と、加入、文レク、補助機関など、当面の取り組みが提案され、可決されました。

委員長杯スポーツ大会開催 ストライク続出!?



奮闘、爆笑で大盛り上がり

2月26日、星ヶ丘ボウルで、委員長杯スポーツ大会を行い、各分会から40名の参加がありました。
大会は19時スタートでしたが、仕事を終えてさらにパワーアップした参加者は、ストライクの続出!で大奮闘でした。
ゲーム後は参加者一同で交流会、表彰式を行い健闘を称えました。



男性右から
1位・石黒さん
2位・権田さん
3位・小出さん

成績	男性(13名)
1位	石黒 泰範(小児) 329点
2位	権田 行儀(本部) 295点
3位	小出 博孝(城山) 275点

成績	女性(27名)
1位	萱野 由樹(中央) 288点
2位	近藤 沙季(小児) 245点
3位	豎本佑己乃(愛知) 240点



女性左から
1位・萱野さん
2位・近藤さん
3位・豎本さん

分会	分会長	副分会長	書記長	書記次長
本庁	小川 正毅 経営課	熊谷 有二 経営課	福永 英之 管理課	
がん中央病院	吉田 健一 6 東	伊藤 義将 手術 5 東	浅井 翼 放射線診断部	
がん愛知病院	牧 祐太 事務	加藤 紋巳 7 階		
城山病院	安藤 京一 東	中村 正喜 東 下	古賀 聡一 東 上	太田 ツギ子 南 上
小児センター	坂野 俊和 臨床検査	垣内 真次 3 2 病棟	中村 和明 ICU	

よろしく
お願いします

2015年
分会二役の
皆さんです

平成27年度当初予算要求 個別要求回答出される 正規職員 56名増員 認めさせる



〈平成27年度当初予算に関する要求に対する回答〉

平成27年1月27日
病院事業庁

1 人員に関する要求

分会名	職種	職場名	要求内容	回答
がんセンター 中央病院	看護師	手術室	正規7名の増員	正規職員を3名増員する
		外来	実働看護師の確保	適切に対処したい
	歯科衛生士	歯科	正規1名増員	嘱託職員を1名減員し、正規職員を1名増員する。
	薬剤師	薬剤部	正規12名増員	現状どおりとしたい。
	臨床検査技師	臨床検査部	嘱託2名増員	現状どおりとしたい。
		輸血部	正規1名増員	現状どおりとしたい。
	CRC	治験支援室	正規3名増員	正規職員を4名増員する。
		事務職	治験支援室	正規1名増員
	医学物理士	運用部	各グループ正規1名増員	現状どおりとしたい。
		放射線治療部	正規2名増員	現状どおりとしたい。
がんセンター 愛知病院	看護師	栄養管理部	嘱託2名増員	現状どおりとしたい。
		看護部	看護体制の維持	入院患者数に応じた看護体制としたい。
城山病院	看護師	認定・専門看護師の専従化	正規1名増員	患者数に応じた職員数としたい。
		給食	正規1名増員	正規職員1名減員し、嘱託職員を1名増員する。
		医療観察法病棟	3-3-8体制とすること	
		急性期病棟	2-3-8体制とすること	入院患者に応じた看護体制としたい。
	精神保健福祉士	回復期病棟	2-2-8体制とすること	
		救急病棟	3-3-8体制とすること	
		医療観察法病棟	正規2名増員	正規職員1名増員する。
	作業療法士	医療観察法病棟	正規1名増員	正規職員1名増員する。
	臨床心理士	医療観察法病棟	正規1名増員	なし
	薬剤師	薬剤部	正規2名増員	現状どおりとしたい。
小児センター	看護師	外来	正規24名増員	正規職員を10名増員する。
		手術室	正規10名増員	正規職員を8名増員する。
		21病棟	4-4-8体制のため正規8名増員	正規職員を5名増員する。
		22病棟	4-4-8体制のため正規3名増員	現状どおりとしたい。
	ICU	正規16名増員	PICU新設のためICUに正規職員を16名増員する。	
	薬剤師	薬剤部	正規3名増員	正規職員を2名増員する。
	臨床検査技師	臨床検査科	正規2名増員	正規職員を1名増員する。
	臨床工学技士	臨床工学室	正規2名増員	正規職員を1名増員する。
	放射線技師	放射線検査室	正規2名増員	正規職員を1名増員する。
	保育士	保育	嘱託職員1名	現状どおりとしたい。
言語聴覚士	言語聴覚科	正規1名増員	現状どおりとしたい。	
視能訓練士		欠員をなくすこと	業務量を勘案し、適切に対処したい。	
心理指導科		再任用退職補充をすること	適切に対処したい。	
事務職	事務部	事務職員の増員	正規職員を2名増員する。	
クラーク	31病棟	2名体制とすること。	現状どおりとしたい。	

2 手当に関する要求

小児センター	手術室の看護師に待機手当を支給すること。	現状どおりとしたい。
--------	----------------------	------------

3 職場環境に関する要求

がんセンター 中央病院	各病棟に身障者トイレを設置すること。	現状どおりとしたい。
がんセンター 愛知病院	特殊放射線治療棟のトイレを身障者用トイレに改善すること。	現状どおりとしたい。
小児センター	センター内に職員駐車場を確保すること。	駐車場の確保の必要性は認識しており、検討していきたい。
	シリンジポンプ・輸液ポンプ・ベッドサイドモニターを増やすこと。	必要数については、整備していきたい。
	薬剤部に可動式薬剤棚を設置すること。	現状どおりとしたい。

城山病院

2015年度末に医療観察法病棟・西病棟が開棟します。平成27年度当初予算の回答では、入院患者数に応じた看護体制としたいとの回答がありました。大幅な定数増が見込まれるため、欠員が生じないか確認し、生じていけば人員等の確保を求めています。

小児センター

2015年度中に救急棟が完成し三次救急が開始されるため、平成27年度当初予算人員要求の回答では、46名の増員となりました。大幅な増員のため、欠員生じないか確認し、生じていけば人員等の確保を求めています。

質疑・答弁

安藤代議員・城山病院



院事業庁は、管理運営事項としてとらえているが、病院職場はマンパワーであるため院事業庁へ随時、情報提供・交渉を求めている。と考えている。

垣内代議員・小児セ



今年度からは、人員の削減提示は行なわれなくなり、人事異動の内示までわからないとのことであるが、職員が非常に不安を持っている。病院事業庁にはこれまでと同じように削減提示をしてもらいたい。また、所属によっては、配置換えにより人員削減となり、患者サービスや職員のモチベーション低下など、様々な問題につながる。組合としてはどう考えているのか。

小児センターは①夏季休暇延長による年休2日の未消化②時間外勤務③二交替と様々な問題があるが、どうしたらよいか。

組合本部
職員定数について病

組合本部
職場での問題につい

総括安全衛生委員会開催

メンタルによる休職件数 前年度と比べ増加 各病院委員会ほぼ毎月開催

3月2日(月)病院事業庁総括安全衛生委員会が開催され、病院組合から委員の5名が出席しました。

まず、病院事業庁から資料をもとに、各病院の安全衛生委員会の開催状況、健康診断の結果、療養休暇・休職の状況、作業環境測定結果等の説明があり、平成27年度の安全衛生管理の事業計画の提案がされました。



各病院の委員会については、毎月開催する必要がある。しかし、小児センターが業務多忙により、3回ほど未開催であったけれども、昨年よりは改善されているとの報告がありました。

メンタルでの休職件数が平成26年度は18件で、平成25年度と比較して7件の増加となっています。また、休職者6名のうち2名が復帰したと報告されました。

組合からは「休職した職場以外の職場復帰訓練について」質問をしたところ、病院事業庁より、その職場以外での復帰訓練は制度上実施できることになっているが、訓練先の職場の了承など、非常に困難であると、実例を踏まえての回答がありました。

疾病分類別の療養休暇の状況

疾病分類	25年度				26年度							
	療養休暇		休職件数	日数	療養休暇				休職件数	日数	療養休暇一件当り平均日数	
	件数	実件数			件数	実件数	新規	新規率				
結核	1	1	0	26	0.0	0	0	0	0.0%	0	0	0.0
新生物	6	5	2	228	38.0	11	5	5	100.0%	3	313	28.5
循環器系	0	0	1	0	0.0	0	0	0	0.0%	0	0	0.0
消化器系	0	0	0	0	0.0	2	2	2	100.0%	0	20	10.0
妊娠分娩・産褥	20	17	1	578	28.9	18	16	15	93.8%	1	588	32.7
精神	21	20	11	1,568	74.7	21	20	19	95.0%	18	1,620	77.1
その他	21	21	1	558	26.6	18	15	15	100.0%	1	604	33.6
計	69	64	16	2,958	42.9	70	58	56	96.6%	23	3,145	44.9

※臨時的任用職員、嘱託員及び10日未満の私療は含まれていない。前年度は同時期実績値。